

## 『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量(発電出力合計)が、その需要量等(エリア需要予想、連系線運用容量)を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土

[11月4日現在]

[万kW]

通し番号		1		2		3		4		5		6	
発信日	10/12(金)16時頃 (前日指示)	10/13(土)9時頃 (当日見直し) <sup>(注6)</sup>	10/13(土)16時頃 (前日指示)	10/14(日)9時頃 (当日見直し) <sup>(注6)</sup>	10/19(金)16時頃 (前日指示)	10/20(土)9時頃 (当日見直し) <sup>(注6)</sup>	10/20(土)16時頃 (前日指示)	10/21(日)9時頃 (当日見直し) <sup>(注6)</sup>	11/2(金)16時頃 (前日指示)	11/3(土)9時頃 (当日見直し) <sup>(注6)</sup>	11/3(土)16時頃 (前日指示)	11/4(日)9時頃 (当日見直し) <sup>(注6)</sup>	
再エネ出力制御期間	10/13(土) 9時00分～16時00分		10/14(日) 9時00分～16時00分		10/20(土) 9時00分～16時00分		10/21(日) 9時00分～16時00分		11/3(土) 9時00分～16時00分		11/4(日) 9時00分～16時00分		
最大余剰電力発生時刻	12時00分 ～ 12時30分		11時00分 ～ 11時30分		12時00分 ～ 12時30分		12時00分 ～ 12時30分		12時00分 ～ 12時30分		12時00分 ～ 12時30分		
再エネ出力制御量 (再エネ接続量に対する比率) <small>(注1)</small>	43 [ 7% ]	43 [ 7% ]	62 [ 11% ]	71 [ 12% ]	70 [ 12% ]	70 [ 12% ]	118 [ 19% ]	118 [ 19% ]	55 [ 15% ]	55 [ 15% ]	121 [ 21% ]	121 [ 21% ]	
エリア需要 <sup>(注2)</sup> ①	828	828	758	736	806	806	728	728	746	746	696	696	
大容量蓄電池の充電・揚水運転 <sup>(注3)</sup> ②	226	226	226	226	226	226	226	226	226	226	226	226	
域外送電 <sup>(注4)</sup> ③	196	196	196	196	196	196	196	196	202	202	202	202	
小計	1,250	1,250	1,180	1,158	1,228	1,228	1,150	1,150	1,174	1,174	1,124	1,124	
供給力 <sup>(注5)</sup> ④	1,293	1,293	1,242	1,229	1,298	1,298	1,268	1,268	1,229	1,229	1,245	1,245	
(再掲)再エネ出力	(595)	(595)	(555)	(542)	(610)	(610)	(590)	(590)	(561)	(561)	(572)	(572)	
再エネ出力制御必要量 (⑤=①+②+③-④) ⑤	43	43	62	71	70	70	118	118	55	55	121	121	

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定

(参考)9月末設備量 862万kW(太陽光:812万kW、風力:50万kW)

(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3)揚水発電所を最大限活用

(注4)関門連系線を最大限活用し、域外へ送電

(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6)最新(当日5時)の気象データに基づきエリア需要と再エネ出力を見直し

(注)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応